

チャペル週報

No.12

2015.6.22 ~ 6.26

悪に負けることなく、
善をもって悪に勝ちなさい。
(ローマの信徒への手紙12章21節)



ランバス記念礼拝堂前

関西学院宗教センター

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

6月22日(月)ランバスチャペルアワー「人とつながる・命とつながる～献血をとおして～」
ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

神 ランバスチャペルアワーに合流
経 「経済と人間⑥」新海 哲 哉(経済学部教授)
人 出会い⑦ 小西 加保留(人間福祉学部教授)
聖和 聖書物語 サムエル
理 ゴスペルクワイア “Power of Voice”

6月23日(火)神 大森 照輝(神学研究科M1)
文 音楽チャペル 青木 美緒(元文学部教務補佐)
社 真理と出会う① 中道 基夫(宗教主事代行)
法 我らが許すように Christian Hermansen(宣教師)
経 「経済と人間⑦」林 宜嗣(経済学部教授)
商 山本 俊正(宗教主事)
国 平林 孝裕(宗教主事)
聖和 久 洋平(宗教総部・法学部3年)
理 前川 裕(宗教主事)
総 バロックアンサンブル

6月24日(水)神 シリーズチャペル “Mastery for Service” David Wider(神学部教授)
法 音楽チャペル ハンドベルクワイア
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (missionary)
商 舟木 譲(経済学部宗教主事)
人 嶺 重 淑(宗教主事)
国 時 任 隼平(高等教育推進センター)
聖和 岡田 祐之(法人部校友課職員)
理 上内 鏡子(神戸イエス団教会牧師)
総 村瀬 義史(宗教主事)

6月25日(木)神 バロックアンサンブルによる音楽礼拝
文 音楽チャペル 聖歌隊
社 真理と出会う② Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事)
法 音楽チャペル ゴスペルクワイア “Power Of Voice”
経 「経済と人間⑧」本郷 亮(経済学部教授)
商 田淵 結(教育学部宗教主事)
国 大石 太郎(国際学部教授)
聖和 父の日が夏の始まり! Ruth M. Grubel(関西学院院長)
総 NPO法人メインストリーム協会

6月26日(金)院 Efrat Ben-Ze'ev(国際学部客員教授)
神 永富 美加(神学研究科M1)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(chaplain)
経 舟木 譲(宗教主事)
人 音楽チャペル バロックアンサンブル
聖和 さかなはさかな 千葉 武夫(聖和短期大学学長)
理 Timothy Dale Boyle(経済学部教授・宣教師)

◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
6月26日(金) 聖和短期大学のために 千葉 武夫(聖和短期大学学長)

祈りあう繋がり

岩 坂 二 規

瀬戸内海のある島に、15年前から親しくしていただいている老夫婦がいます。夫のTさんは歌うことが大好きで、書道と畑仕事もお上手です。妻のYさんは声が大きくいつも朗らかで、彼女がいると場が明るく楽しくなります。お二人とも熱心なクリスチャンで、日曜日には島の教会で行われる礼拝にいつも連れ添っていかれる微笑ましい姿がありました。ところが、今年の2月に妻のYさんが突然亡くなられたという悲しい知らせが届きました。82歳でした。前夜式では、夫のTさんが、Yさんが好きだった讃美歌をいつもの美しい声で歌われました。

ここまでお話すると、どこにもおられる善良なお年寄り夫婦のこのようですね。でも、このご夫妻には一つだけ、私たちの日常とちがった事情がありました。それは、お二人とも若い頃にハンセン病という病気を患い、強制隔離政策にもとづく「らい予防法」という当時の差別法によって故郷から引き離され、高松市にある国立療養所「大島青松園」で70年近くを過ごされたことです。

聖和キャンパスの登録団体である学生YMCAは、50年にわたってこの大島青松園の方たちとの交わりを続けてきました。ワークキャンプを行い入所者のみなさんといっしょに作業をしたり、家庭訪問をして人生談を聴かせていただいたり、霊交会というキリスト教会で聖日礼拝をともに守ったり、といったプログラムを行います。霊交会の信徒代表の方は、半世紀にわたって若い学生や卒業生たちと築いてきたことについて、こんなふうに語ってくださいます。「若い訪問者のみなさんとの交わりを神さまに感謝しています。私たちはこの島で、みなさんが学校や職場でどうしているか、元気にしているか、と気にかけてながら、いつも神さまにみなさんのことをお祈りしています。そして、逆にこの島を訪れてくださったみなさんも、どこかで私たちのことを覚え、祈ってくださっているんじゃないか。そう思うと、ほんとうにあたたかい気持ちになります。それだけで十分なんです。」

この世界でさまざまに力を奪われた人たちと出会い、互いに祈りあう関係性を繋ぐこと。大学チャペルのひとときは、そこで証されるさまざまな関係性に出会うことで、私たち自身の中に、祈りあう生き方の習慣を養う時として備えられているのではないのでしょうか。

(教育学部准教授)

●オルガン音楽の泉 2015 Spring Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第3回 6月23日(火) 瀬尾 千絵(日本基督教団 神戸教会オルガニスト)

第4回 7月1日(水) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)

いずれも12時50分～13時20分(12時40分開場予定)

ところ:関西学院中央講堂

問合せ:宗教センター

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

6月主題:「ペンテコステ(聖霊降臨祭)を覚えて」

6月25日(木) 舟木 讓(大学宗教主事)

●春の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、春の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間:6月22日(月)～26日(金)

受付場所:吉岡記念館ラウンジ

主 催:宗教総部献血実行委員会

●ランパスチャペルアワー

学生たちが企画するチャペルです。どなたでもお気軽にご参加ください。

6月22日(月)「人とつながる・命とつながる～献血をととして～」

ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)10:35～11:05

*ランパスチャペルアワー委員会は、共にチャペルをつくる学生を募集しています。

興味のある方は、吉岡記念館事務室・宗教センターに声をおかけください。

●関西学院大学主催 春季人権問題講演会 「ハンセン病～今、私たちにできること～」

と き:7月8日(水)11:10～12:40

ところ:社会学部101号教室(西宮上ヶ原キャンパス)

講 師:金 正美氏(字幕制作ディレクター・エッセイスト)

*手話通訳、パソコンテイク、ビデオ撮影を予定

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室ははじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。